

広島市教職員組合 (全教)  
No. 12  
2024.2.21  
  
全教広島HP

◎広島市教職員組合(全教)は、あなたの願いや要望を大事にして活動します。

◎子どものこと、学校のこと、自分の子育てのことなど、一人の悩みをみんなまで考えます。

# 仲間と連帯して労働条件の改善を求めよう！

2月11日(日)、広島市教組(全教)は、第68回中央委員会を広島ロードビルを会場に開催しました。

本中央委員会は10月の中央委員会以降の運動のまとめと総括を行い、次年度の定期大会までの運動方針を確立する重要な議決機関です。中央委員27名



開会の挨拶に立つ 中本副委員長

中26名が参加。常任執行委員、書記、オブザーバーを含め42名の参加で成功しました。開会の挨拶で中本副委員長は、「世界や日本情勢を知りその改善を求めることは私たちの働き方・生活の改善にもつながる。日々の日常の仕事に埋没せず、広い視野を持つことが大切だ。」とし、「おかしいことにはおかしいと言つことが私たち労働組合の役割。ともに声をあげてくれる仲間を増やし運動を前進させていきましょう！」と力強く述べました。

執行部からは、この間の市労連の確定交渉で前進した内容や各専門部の取り組み、平和

## 中央委員の討論より「議案を補強する立場からの発言」

### 未来が見える 働き方を求める

会計年度任用職員の事務職員について、若い事務職員が数年で転職している。自分の未来が見えないから転職する。多くの知識を得ても辞められては意味がない。ぜひ正規職員になれるよう制度化が求められる。また、日任用についても、休暇制度などの改善も求める。さらに、新採の教員が安心して教職員で働けるよう、教育委員会は学校に丸投げではなく、取り組むことを求める。(西区・中)

### 事務職員の苦難の声をあげ続け、改善に期待

事務職員が日々扱う入力システムは、県・市の両方があり、不便を強いられている。改善を市教委に対して声をあげ続けていた。先日、市教委と懇談をし、改善策について協議をした。これまでの懇談では要求しても進まないことが多かったが、今回は現場の不便さを市教委も理解しており、前向きな取り組みが期待できる協議となった。これからも事務職員の声を集めて改善に向けて声をあげたい。(事務職員部)

### 学習を基本に 声を集めたい

障教部で全国学習会に参加した。多くの実践や最新情報の報告もあり、有意義な時間だった。全国の仲間がつどい、地域毎の課題など語り、楽しく学べた。さらに、中四九ブロックで学習会を開催。奈良教育大学の越野和之先生を迎え、特別支援教育をめぐむ問題を鋭く分析してもらった。2日目の分科会では、広島からもレポートを出し、各分科会で充実した学びになった。今後学習を中心に、仲間が抱える課題などに向き合いたい。(障教部)

### 「おしゃべりカフェ」 教員の味方に

職場で「おしゃべりカフェ」を開催した。「おいしいスイーツが食べられるよ」と親しい同僚に声をかけて行った。共済の話や役員の方がしてくれただあと、職場の話をした。職員室でいろいろ話をしていたはずだったが、働き方については話をしたことがなかった。



全会一致で議案を採択

# 健康で長く働くためにも、労働組合が必要！

## 「教員の味方がいることがわかった！」

## 第68回中央委員会

### 42名の参加で議案を採択



ハ又目云 (女性部)

「行政区別おしゃべり会」を開催中。悩みや疑問、お互いの学校の情報交換など、話すことで明日への活力になる。「ミカン狩りツアー」でもたくさん話し、食べてエネルギーチャージ。未組の参加も嬉しかった。「みんなの交流広場」では退婦教の方に主催してもらい、みんなが集まれるイベントとなり楽しめた。女性部では女性教職員の声を集めて働きやすい環境を目指していきたい。

### いまこそ 労働組合が必要

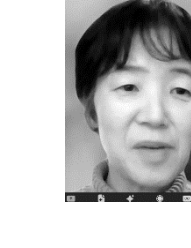
これまで臨時教員の働き方について疑問があった。それを全教の方に相談しながら、助けてもらってきた。組合の必要性を感じ、加入することに決めた。臨時教員は、いつも次の任用があるか不安の中で生活している。免許制度(特に助教諭免許)にも疑問がある。健康で長く働き続けるためにも、働き方や休暇制度などの改善を要求するために労働組合は必要。(中区・小)

### 仲間が増える喜びを実感 今後の取組につながる

年度途中の産休代員に任用された方が、全教の仲間だったので、さっそく分会で歓迎会を行った。同じ職場に仲間が増える喜びを実感できた。今回の仲間が増える経験が、今後の集い合い活動や仲間を増やす取り組みへのモチベーションアップにつながる気がした。(南区・小)

### ジェンダー問題は 社会全体で考える課題

職場でジェンダーについて考えることは難しいが、社会全体の課題として考える必要がある。県労連女性センターでは「ジェンダー平等の視点をすべての根幹にし、『自粛はしても委縮はしない』つながるために工夫し、『たのしくつながる。ためになる』の3Tを意識している。毎年開催の「はたらく女性の広島県集会」は、多くの団体で実行委員会を作り、今年で67回を迎える。「ジェンダー平等は女性だけでなく家族や地域社会、それに国家に繋がる」とであり、実現できれば男性にも恩恵がある。「ことを共に考えよう。(東区・小)



議長の方々ありがとうございました。

# 「このままでは学校がもたない」

## 全教の7つの提言

**全教提言**  
このままでは学校がもたない！  
子どもたちの成長が保障され、  
せんせいがいきいきと働くことができる  
学校をつくる

**職場の共同の力で教育危機の打開へ**

- ①教職員定数の抜本的改善を
- ②少人数学級の推進を
- ③競争主義的な教育政策の見直しを
- ④給付法の改正を
- ⑤労働安全衛生体制の確立を
- ⑥部活動の見直しを
- ⑦教職員の声を施策に反映させるしくみを

**全教提言① 教職員定数の抜本的改善を**

②20人学級を推進した少人数学級を

「このままでは学校がもたない」という状況を打開するための「7つの提言」が全教中央から発信されました。ぜひ行政区別全員集会で学習しましょう。職場の共同の力で教育危機の打開へ！子どもたちの成長が保障され、先生がいきいきと働くことができる学校をめざしましょう！

**行政区別全員集会** ぜひ行政区で集まって、それぞれの職場の交流と来年度へ向けた未来をお互いに語れる場にしましょう。

日程・場所	日程・場所
中区 2/22(木)中島小 18:30~	安佐南区 3/1(金)城南中 18:30~
東区 3/1(金)尾長小 18:30~	安佐北区 3/1(金)18:30~
西区 3/1(金)中広中 18:30~	安芸区 3/7(木)五日市南小 18:30~
南区 3/1(金)荒神町小 18:30~	佐伯区

**みんなでチョコとひと息 全教共済『春一番キャンペーン』**

加入者・紹介者に  
**7千cafeセットプレゼント!**

「全教広島」組合加入者と紹介者！「全教共済」「全教自動車保険」の加入者と紹介者の方に（リンツのチョコ2個とスタバのドリップコーヒー1パック）×3セットプレゼントします。

2024年2月3日～2024年6月30日まで!



一日も早い停戦・終戦を願う  
ロシアがウクライナに侵攻を始めて2年になる。さらに、最近ではイスラエル軍がガザ地区を毎日のように攻撃しており、どちらの攻撃も終わる気配が見えない。自分ができることはなにか。戦争を終わらせる方法はいいのか、と日々悶々として過ごしていた時に「ストップ・ジェノサイド！教職員行動」に参加した。これで何かが変わるとは思わないが、一日も早く戦争が終わることを祈っている。  
(安佐北区・中)



ICT教育で、更に競争が？  
『P+テスト』について報告します。企業（ベネッセ）が勧める情報学習の能力を測る小中学生向けの検定です。学力テストの結果を検討し、さらに「P+テスト」の結果を検討し、年度の末の研究報告書はすくなく自己批判をしているような内容でした。これ以上競争と締め付けを加速させるような取り組みはやりません。現場からしっかりと声をあげていきたい。  
(佐伯区・小)

仲間を増やすことが、教育を守り、仲間を守ることにつながる。そこに確信を持って職場で「仲間になってほしい！」と語っていい。



閉会のあいさつ 藤中執行委員長

学校現場は働き方改革と言われながら、現状の変化を感じられず、超多忙な実態が続き、教職員の疲弊が進んでいます。病休者の増加、またその中の精神疾患の割合の多さという客観的なデータからも、この仕事は依然としてブラックな職務実態であることが証明されています。ただでさえ人が足りないうえに欠員が出ている職場も増えています。もはや、採用試験の日程や受験機会の変更など、小手先の変更で、たくさんの人が憧れ、目指す職場になることは、到底あり得ない状況です。裏を返せば、今こそ労働組合の必要性が非常に高まっている状況だということ。しかし、現状組合員はなかなか増えてはいません。どうしてなのでしょう。

多忙化は、私たち労働組合への攻撃として、政策的に行われていると言われてきましたが、まさしくそうではないでしょうか。人は追いつめられると、不安や恐怖を感じます。結果、その場所に踏みとどまることのできない状況になります。隣人のそれを見た人は、自分を守ることに走ります。そしてどんどん苦しいさは増していきます。かつて専制政治を行ってきた為政者は、国民の不安と恐怖をあり、「自国ファースト主義」を広め、戦争への道を突き進んでいきました。不安や恐怖は、意図的に作り出され、人々を分断します。やがてそれは、「自分ファースト主義」となり、苦しみは増大していきます。苦しい時に、自分だけが苦しくない状況になることはありませぬ。自分の所属している集団、社会、それが苦しみから解放される道を進まなければ、自分が苦しさから解放され、未来に希望を持てることはありません。私たち自身のこと置き換えると、自分の学校だけがよくなることはないのです。広島市全体、日本全体が変わらなければ、自分の学校が変わることはないのです。私たち市教組は、全国組織「全日本教職員組合」に結集している教職員組合です。全国の仲間と力を合わせていくことができます。教育条件整備を求める「教育署名」も、教職員の労働条件の改善を求める「歯止め署名」も、全国の仲間と連帯した活動です。そこに、より良い教育の実現に向かう希望があります。「自分ファースト主義」になりそうなお中、市教組に結集している私たちの行動は、まさに教育を守る活動そのものだと言えます。そこに確信を持って、職場の仲間呼びかけましょう。「あなたの加入が、教育を守り、仲間を守ることにつながるのだ」ということを訴えましょう。今年役員改選の年です。全ての組合員からの投票を呼びかけましょう。その呼びかけも仲間を守る一歩につながります。ともに頑張りましょう。